

事業番号	15 05 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S54 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進				

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】
	【目指す姿】
	【実施内容】

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	R1~R3年度における緊急的な整備が必要な箇所の対応率	%	43.6	57.7	↑	78.8	↑	100	未達成
2	トイレの洋式化率	%	78.6	82.4	↑	84.6	↑	79.9	達成
3	自力通学ができず、かつスクールバス利用を希望する児童生徒の乗車率	%	97.5	100.0	↑	100.0	→	100	達成
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	1,279,342	27,643	157,274
	当初予算額	785,971	784,209	1,183,823
	補正予算額	37,172	379,219	761,195
	合計(A)	2,102,485	1,191,071	2,102,292
	うち一般財源	572,660	427,186	1,030,312
決算額(B)		2,044,940	1,017,540	1,211,426
職員数(人)		3.1	3.1	3.1

成果指標及び目標値の設定理由	1.集中的に施設整備を3か年で実施 2.各特別支援学校において洋式化率80%以上、多目的化率20%以上の達成 3.R元年度9月補正予算及びR2年度当初予算で課題解消
達成状況の分析	1.集中的に施設整備は実施したが、目標値は未達成。 2.計画的に整備を実施し、目標値を達成。 3.スクールバスを1台増便し、継続して目標値を達成。

主な取組	✓ 特別支援学校施設計画整備事業の推進 ・学校生活維持に必要な不可欠な修繕・改修を3か年(R元~R3)で計画的に実施 ・令和3年度の計画19箇所、実績44箇所
	✓ トイレ整備事業の推進 ・各特別支援学校において洋式化率80%以上、多目的化率20%以上の達成を目指し、令和元年度から5年度まで計画的に整備 ・令和3年度の計画・実績(洋式化9箇所、多目的化6箇所)、目標達成8/18校
	✓ 児童生徒の通学保障に対応するスクールバスの配備 ・スクールバスの計画的な配備により、児童生徒の通学の安全と利便性を確保し、保護者等の送迎負担を軽減 ・令和3年度1台増便、計42台で運行

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から国の特別支援学校設置基準を踏まえつつ、順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 スクールバス利用希望に対応できる体制整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等にも引き続き積極的に取り組んでいく。 特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針を踏まえ、ZEB化や学習空間デザインを取り入れた基本計画の策定を進める。 スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	給与費等	36,835 千円	41,743 千円	50,978 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	スクールサポートスタッフ配置事業	直接	特別支援学校にスクールサポートスタッフを計24人配置し、教員の負担を軽減
2	盲・ろう学校非常勤講師等配置事業	直接	盲学校に非常勤講師2人を任用し、教育カリキュラムを充実
3	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業	直接	早期支援指導員と早期教育相談員を4人ずつ配置
4	研修等代替非常勤講師配置事業	直接	研修代替非常勤講師を2人任用
5	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業	直接	体育代替非常勤講師及び養護教諭非常勤講師、学級担任補助員、寄宿舎指導員宿直代替員の配置

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	特別支援教育推進指導事業費	289,492 千円	401,913 千円	283,912 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	学校管理運営事業	直接	タブレット端末等のICT機器及び通信環境の整備によるICTを活用した効果的な教育の推進 ICTを活用した授業環境の高度化に資するため、電子黒板(238台)を整備するとともに、教員1人にタブレット端末を1台整備

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	就学奨励事業費	289,492 千円	278,997 千円	312,497 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	特別支援教育就学奨励費事業	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者等に対する就学奨励費の支給(国庫1/2) 高等部生に対し、タブレット端末を整備

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	特別支援学校整備事業費	1,409,623 千円	68,536 千円	265,659 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	18校、44か所において施設整備を実施	
2	特別支援学校トイレ環境整備事業	直接	2校9か所においてトイレ洋式化を実施 2校6か所においてトイレ多目的化を実施	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	特別支援学校運営費	146,494 千円	212,591 千円	298,380 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	学校評議員設置事業	直接	地域住民や保護者などを学校評議員として委嘱し、学校運営や学校自己評価についての助言を得る。	
2	通学バス・公用車整備事業	直接	スクールバス1台を更新 感染症重症化リスクの高い児童生徒等を対象とした、ジャンボタクシー等の利用によるスクールバスの増便	
3	特別支援学校学習環境整備基金事業	直接	基金運用益の利子を受け入れ、基金に積み立て、運用益で図書を購入	
4	県立学校修学旅行取消料等支援事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により修学旅行等を中止した特別支援学校の保護者が負担するキャンセル料等を助成	
5	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	補助金	感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するために必要となる保健衛生用品等の購入	